

## 北海道内において発生した脚立及びはしご労働災害発生状況

北海道労働局

## 1 使用時の死亡労災事故 (平成27年1月～平成29年7月)

発生月 種類	場所 業種	性別 年代	事故の概要
29年6月 脚立	稚内市 社会福祉施設	女 50代	被災者は、洗濯物を干すため脚立の二段目(約4.6m)に立ち作業中バランスを崩し、臀部を強打した。帰宅後容体が急変し、S状結腸穿孔により死亡したものの。
29年5月 脚立	帯広市 ビルメン業	男 60代	被災者は、事務室の天井裏にある空調設備の調整のため、脚立の二段目(約1.2m)に立ち作業中、バランスを崩し仰向けに転落し、後頭部を強打したものの。
29年4月 はしご	千歳市 建設業	男 20代	被災者は、個人住宅の屋根塗装工事において、壁に長さ約7.4mのはしごを立てかけ、そのはしご上で塗装作業中、はしごの脚部を固定していたものが破損し、はしごが倒れたことにより、墜落被災したものの。
28年8月 はしご	恵庭市 農業	男 80代	被災者は、庭木の剪定のため、その木にはしごを立て掛け枝払い作業後、はしごを下りる際、バランスを崩し2m墜落被災したものの。
27年5月 はしご	札幌市 ビルメン業	男 40代	被災者は、2階の窓掃除のためはしごを立て掛け作業中、体勢を崩し、約4m墜落被災したものの。
27年4月 はしご	千歳市 林業	男 60代	被災者は、樹木にはしごを固定して幹上部を切断作業後、はしごを下りる際に足を踏み外し、約5m墜落被災したものの。
27年2月 脚立	鹿追町 運輸交通業	男 60代	被災者は、高さ1.1mの脚立を用いてバスの窓ふき作業中、転落し頭蓋骨骨折により死亡したものの。

## 2 脚立・はしごによる労働災害統計

